

# 令和5年度の 桜小学校

## 学校教育目標等

学校教育目標	自ら学び・考え・行動する、心豊かでたくましい児童の育成
目指す学校像	みんなが楽しい学校 向上の変容を実感し、「学びって楽しい!もっと学びたい!」と思える
目指す児童像	① づらいことにも負けない子 ② よく学ぶ子 ③ いつも元気な子 ④ ところ優しい子 「つ・よ・い・こ」

## 本年度の重点努力事項

「よく学ぶ子」を育てるために	「いつも元気な子」を育てるために	「ところ優しい子」を育てるために
<p>① 児童が主体的に学ぶ授業づくりに努め、学習内容の確実な定着を図る</p> <p>ア 課題意識と見通しをもたせ、児童が主体的に課題解決に取り組む授業を展開する。</p> <p>イ ユニバーサルデザインを取り入れた指導の工夫を図る。</p> <p>ウ 相手の話をしっかり聞く、傾聴する力を育成する。</p> <p>エ 個人カルテの活用及び個に応じた支援、並びに評価・振り返りの充実を図る。【単元テスト数値目標：学級平均点80点】</p> <p>② 家庭や地域の教育力を効果的に生かし、教育活動の質の向上を図る</p> <p>ア 家庭との連携を強化し「さくらっこ家庭学習5つのポイント」を活用しながら家庭学習習慣を確立する。【家庭学習時間数値目標：学年×10分+10分】</p> <p>イ 「家庭学習指導週間」を設定し、子供の意欲向上を図ると共に、教師の指導の評価改善を行う。</p> <p>ウ 地域人材や教育資源を教育活動に積極的に生かし、地域から学び、地域を愛する、夢と志をもった子供を育成する。(ふるさと角田学)</p> <p>エ 地域の自治センターや社会福祉施設等と連携し、地域学習の充実を図る。</p> <p>③ 社会の変化(DX・グローバル化等)に対応した教育の充実を図る</p> <p>ア ICTに慣れ親しみ、基本的な操作や情報モラルを身に付けると共に、必要な情報を主体的に収集・判断・処理・編集・表現し、発信する能力を育成する。</p> <p>イ 国際社会の一員として、自国及び諸外国の伝統や文化を理解し、相手の立場を尊重して意思疎通を図ることのできる資質や能力を育成する。</p> <p>ウ 持続可能な社会にするための環境教育(ゼロカーボンシティ等)や互いに支え合い豊かに生きていこうとする態度を育てる福祉教育等の充実を図る。</p>	<p>① 安全教育・安全管理の徹底を図り、安全・安心な教育環境を整備する</p> <p>ア 全教育活動を通して組織的・継続的な安全教育を推進しながら、自他の命を尊重し、安全な生活を営む基礎を培う。</p> <p>イ みやぎ防災教育副読本等を活用し、計画的・継続的な学習を行うと共に、児童自ら危険を予測し回避する実践力を育成する。(毎月11日を「学校防災の日」とし、防災学習を行う)</p> <p>ウ 地域と連携しながら交通安全教室や避難訓練の充実と改善に努める。</p> <p>エ 日常的な安全指導の徹底により、けがの未然防止を図る。</p> <p>オ 地域、関係機関と連携して防災計画の定期的な見直し等に努める。</p> <p>カ 校舎内外の整理整頓に努めると共に、複数数の目による丁寧な校内安全点検を行い、早期発見・早期対応を図る。</p> <p>キ 教職員が率先垂範し、短時間で、集中した「無言清掃」を行う。</p> <p>② 運動の楽しさを体験させる活動を工夫し体力の向上を図る</p> <p>ア 「体力・運動能力調査」結果の考察等を踏まえ、一人一人の能力適性に応じた課題をもたせたり、運動内容を工夫したりする。</p> <p>イ 運動量を十分確保した体育学習を行う。(汗をかく体育)</p> <p>ウ 「Web縄跳び」等に参加することで、冬期の運動量確保に努める。</p> <p>エ 学習カード等を活用し「さくらっこマラソン」に継続的に取り組むよう支援する。【数値目標：200周】</p> <p>③ 保護者や関係機関等と連携しながら保健教育の充実を図る</p> <p>ア 保護者への啓蒙を図り、「早寝・早起き・朝御飯」や「ノーメディアデー」、「家庭ごとの『ゲームの約束』」定着を推進していく。</p> <p>イ 専門的知識をもつ栄養教諭による給食指導や、養護教諭による保健指導を通して、疾病等のリスク軽減や健康を支える環境づくりに、主体的に課題解決に取り組む意欲を高める。</p> <p>ウ 新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底(3密回避、換気、手洗い等)を図る。</p>	<p>① 命を大切に自他のよさを認め合うことができる教育を推進する</p> <p>ア 一人一人の児童の個性や持ち味を多面的共感的に理解し、望ましい成長と自己実現のための支援(積極的な生徒指導)を行う。</p> <p>イ 児童一人一人の良さが認められ、存在感や居場所のある温かな学級作りを行う。</p> <p>ウ お互いが気持ちよく生活するためのルールの徹底を図る。(挨拶、返事、後始末)</p> <p>エ 縦割り清掃活動、縦割り遊び、児童会活動等を活用し異学年交流活動を推進する。</p> <p>オ 見逃しのない観察、手遅れのない対応、心の通った指導に努める。</p> <p>カ 児童・保護者の心に寄り添った丁寧な教育相談を行う。(SC・SSW・外部機関との連携強化)</p> <p>② 道徳教育・読書活動の充実を図り、豊かな心を醸成する</p> <p>ア 道徳科を要とした「考え、議論する道徳」指導の充実を努める。</p> <p>イ 他教科や特別活動、生徒指導、人権教育等と関連付けた道徳的実践や体験活動を推進する。</p> <p>ウ 保護者や地域ボランティアと連携し、読書活動を推進する。(家族読書の日：毎月第1・3土曜日、読み聞かせ)</p> <p>エ 意図的に本と時間を確保しながら読書指導を行うと共に多読を励行する。【学年部別数値目標《多読賞》：低学年70冊、中学年60冊、高学年50冊】</p> <p>③ 一人一人の教育的ニーズに対応する特別支援教育の充実を図る</p> <p>ア 児童一人一人の状況や特性に応じて、具体的な指導目標や指導内容・方法を明確にした個別の指導計画や教育課程を編成し、きめ細やかな指導を行う。</p> <p>イ 校内就学支援員会及びケース会議を中心として校内支援体制を整え、保護者や医療機関・教育委員会等関係機関と連携し、支援の充実を図る。</p>



## 保護者地域と連携した学校づくり